

請願第14号

新型コロナウイルスの影響を大きく受ける医療機関・介護事業所の昨年度収益を確保し安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見を国に提出することを求める請願

1 趣 旨

新型ウイルスの感染の広がりによって、医療機関は、感染対策に奔走している。介護事業所は、感染におびえながら、介護を提供している。医療機関は、①多くの医療機関が、患者さんが感染を恐れ、受診を控えたことにより、患者減となっている。②コロナ患者の受入れベッドを空けておく。③医師・看護師の特別の体制を取る。④一般診療、入院患者数を縮小する。⑤手術や検査、健康診断の先延ばしやキャンセル等が起きている。介護事業所は、感染を恐れた利用者さんのキャンセルによる利用者減、新規の入所者さんの減が起きている。これらのことによって、医療機関も介護事業所も大幅な収入減となっている。

こうした中で医療機関、介護事業所が事業を継続して、安全・安心の医療介護を継続していくためには、新たな公的資金の導入が不可欠となっている。

安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入をするよう、地方自治法第99条の規定による意見書を国に提出されるよう請願する。

[請 願 事 項]

新型コロナウイルスの影響による医療機関・介護事業所の昨年度収益を確保し、安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める以下の意見を国に提出してください。

- ①医療機関・介護事業所の昨年度の収益を確保できるように公的資金の導入をすること。
- ②医療機関・介護事業所で働く労働者の昨年年収が確保できるように手だてを取ること。

2 提 出 者

福井県社会保障推進協議会 代表委員 平野治和 ほか2人

3 紹 介 議 員

佐藤正雄

4 受 理 年 月 日

令和2年6月11日